

すさみ町 議会だより

第 165 号
2024.11.1



も く じ

9月定例会 2P~3P

一般質問 3P~7P

編集後記 8P

発行・和歌山県すさみ町議会

編集・議会広報編集委員会

〒649-2621 和歌山県西牟婁郡すさみ町周参見

TEL0739(55)4808 FAX0739(55)2566

令和6年 第4回 9月定例会

会期 令和6年9月10日～9月18日(9日間)

令和6年第4回すさみ町議会定例会に提出された案件は、報告案件3件（うち専決処分の承認1件）、令和6年度補正予算案件3件、令和5年度決算認定案件8件で、すべて原案のとおり可決しました。

なお、一般質問は、4名が登壇し、町長の考えをいただきました。

報告案件

令和5年度すさみ町教育奨学金貸与基金収入支出報告書の提出について

(内容)

令和5年度中における貸与基金の収支状況について、議会に報告するもの。

健全化判断比率及び資金不足比率について

(内容)

令和5年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について、議会に報告するもの。

専決処分の報告

令和6年度すさみ町一般会計補正予算（第3号）について

(内容)

既定の予算総額に歳入

令和6年度予算案件

令和6年度すさみ町一般会計補正予算（第4号）について

(内容)

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ90,095千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ49億45,101千円とするもの。

「歳入」主なもの

緊急自然災害防止対策事業債

10,500千円

過疎対策事業債

43,000千円

企業版ふるさとづくり基金繰入金

2,200千円

財政調整基金繰入金

11,996千円

緊急防災・減災事業債

△18,000千円

「歳出」主なもの

地区集会所修繕補助金

1,080千円

道の駅すさみ南側用地造成及びテラス整備工事費

52,000千円

道の駅すさみ南側用地購入費

6,780千円

軽EV車両購入費

2,550千円

里野公衆トイレ解体撤去工事費

5,500千円

令和6年度すさみ町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について

(内容)

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ2,915千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ6億19,929千円とするもの。

令和6年度すさみ町土地取得特別会計補正予算（第1号）について

(内容)

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ13,560千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億46,960千円とするもの。

令和5年度決算認定案件

令和5年度すさみ町一般会計歳入歳出決算認定について

令和5年度すさみ町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

令和5年度すさみ町国民健康保険事業会計歳入歳出決算認定について



令和5年度すさみ町水道事業会計歳入歳出決算認定について

令和5年度すさみ町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

令和5年度すさみ町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

令和5年度すさみ町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

令和5年度すさみ町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について

町政のここがきたい！

一般質問

掲載した内容は、議員が質問と答弁をまとめたものです。

地域おこし協力隊について



吉田 靖広

問 現在すさみ町に地域おこし協力隊の数名の方が活動されているとお聴きしますが、そもそも、地域おこし協力隊とはどのような制度ですか。また、どこに所属し、どのような活動をされているのか。

答弁 町長 地域おこし協力隊とは、地域に移住し、地域活性化の仕事へのチャレンジを支援する事を目的に総務省が行う制度であり、都市部からそれぞれの地域等に住民

票を異動し、地域ブランドや地場産業の開発、販売PR等の地域おこし支援や農林水産への従事、住民支援など地域協力活動を行いながら、その地域への定住、定着を図る制度で任期は概ね1年以上最長で3年までとなっています。当町では、地域未来課が今年3月に1名、4月に1名と業務委託契約を締結し、地域おこし協力隊業務を2名の方に委託しています。隊員の募集や雇用にかかる費用は、特別交付税措置となっており、当町の2名の方もその対象となっています。主な業務はすさみ町が行うまちづくり、事業への参画をはじめ、空き家の利活用を検討

や、ホテル観賞会、読み聞かせイベントの開催観光協会やすさみキャンパスが行う公益事業への参加等、まちづくりの活性化等に寄与する取り組みを行って頂いています。



問 地域おこし協力隊の方を増員して、地域の一齐清掃等の地域の行事に参加してもらえないか。

答弁 町長 地域おこし協力隊の方は、自身で活

動の目標設定を行っていただきます。なかなかうまく合致することが出来ない状況にあると思います。

すさみ病院の薬局について

問 町民の多くの方々から、処方薬が出来るまで時間がかかる。何とかならないかとの話をお聞きます。周辺の病院は院内処方が多い中、なぜ、院内処方となつたのか。

答弁 町長 病院の施設基準において薬剤師を置かなければならないと義務付けられており、3名の薬剤師で業務を行っています。当町が院内処方を実施しているのは、院内患者への処方のみでなく、外来患者に処方することにより処方料や、調

剤料、薬価差額等により収益が見込まれるからであります。院外処方も患者が希望すれば、指定された薬局に処方箋をFAXで送付をしています。待ち時間短縮の改善策としては、薬の受け渡しを、今までは、薬剤師が名前を呼んで、受け渡しをしていましたが、番号ディスプレイシステムを設置し、番号と音声で

コミュニティバスの運行について



岸 正嗣

問 1点、コミュニティバスの運行について町長

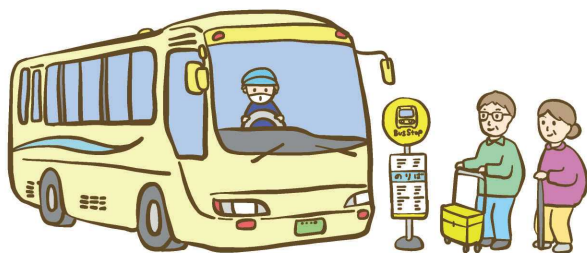
呼び出しを行っていただきます。今後も、待ち時間短縮に向けて検討をしてまいりますと考えています。



にお伺いします。現在、町のコミュニティバスの運行については決められたバス停での乗降となつていますが田辺市では自由乗降ができる路線バスが運行してようですが、すさみ町においても、このようなことが出

来れば利用者もかなり便利になるのではないかと思います。自由乗降については以前からも質問があつたと思うのですが非常に難しいという話であつたと思いますが田辺市が実施しているという事であれば、どのように取り組んでいるのか参考にして再度、考えていただければと思いますが、このことについて町長の意見を聞かせて頂きたい。

答弁 町長 コミュニティバスの運行の要望については地域公共交通会議に諮り応えられる案件には出来るだけ対応していますが、自由乗降については乗客の安全確保の観点並びにバスの駐停車による歩行者や他の車への影響が考えられます。警察



からも安全性を指摘されており、交通量の少ない地域である佐本線の広瀬口から深谷間の自由降車以外は導入が難しい状況にあります。乗車場所のバス停が遠く、移動困難な利用者にはバス停の移設等、自由乗降以外の方法を検討し、コミュニケーションバスの利便性を高めたいと考えております。

問 自由乗降の難しさは

理解しているのですが、たまたま田辺で自由乗降と書かれた路線バスが市内を走っているのを見かけたので何か仕方があるのではないかと思いい質問させてもらいました。

答弁 町長 田辺市にも

防災対策について



竹本 直美

問 地域防災計画の進捗

状況について、近年の大災害を教訓に災害の種類ごとの計画など、情報の共有とマニュアルに沿った支援体制の確立はどの

間い合わせたんですが自

由乗降は山間部の交通量の少ないところでやっているという事です。まずは安全第一なので。

問 分かりました。私と

しては、もし出来るのであれば利用者の皆さんも便利になると思います。

ようになっているか。

答弁 町長 大雨、土砂

災害、地震、津波など当町で発生が予想されている災害や災害の規模、災害予防、応急・復旧対策を定めています。毎年度、県の地域防災計画の修正内容等を踏まえ、当町の計画を修正しているところです。また、災害ごとの職員の体制と分担を定めている対応マニユ

アルは、先月末の台風10

号の前にも職員間で情報共有し、マニュアルに基づき職員を配置しました。

問 トイレについて、大

災害時には、特に大勢が利用する避難所では最初に体制を整えておくことが大事だと思う。その場合の対応として、マンホールを利用したトイレを設置する考えは。

答弁 町長 今、テント

つきのマンホールトイレが65基、介助が必要な方のために6基備蓄していますが、どれくらいが必要かも調査して足りなければ増やすことになると思います。

問 学校の体育館への

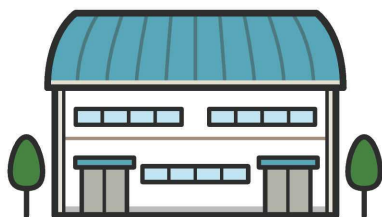
クローラー設置について、避難所として開設する折には特に大勢の人が利用

することになるので設置

していただきたいが。

答弁 町長 できるだけ

早い時期に小学校と中学校、江住の旧小学校を考えたらいと思います。



問 ペットについて、一

緒に避難する場合の対応は。

答弁 町長 避難は人の

ために施設を管理して、運営していくことだと思います。気持ちはわかりますが、町にも責任がありますので避難所の近くへはできるだけ持ってこ



ないように自分で管理できるとする対応をしても、ええたらと思います。

問 立野指定緊急避難場所用地について。

立野に移転する庁舎前の県道の向かい側に避難所用地を求めることになっていくがどのような計画か。

答弁 町長 造成、舗装と必要に応じ備蓄庫の設置等を行い、災害時には緊急避難場所として、平時には庁舎来客用駐車

に利用したいと考えています。

問 この周辺は耕作地でもあり、豪雨の折には水はけの心配がある。また、高台にある防災センターに災害用の備蓄が置いていると聞いているの

で、構造物の建築は向かないのではないかと。

答弁 町長 どうしても必要な場合は、建築物も建てざるを得ないので、返事は控えさせていただきます。

防災対策について



堀谷 伸二

問 南海トラフ地震情報の巨大地震注意報の発表を受けて、初めて出された情報の理解を住民に広めるのに課題はなかったのか。行政として警戒体制を取った中での不備は

なかったのか。住民の防災意識を高めるために行政としての取組や対策が必要になってくると思うがいかがか。

答弁 町長 地震発生から1週間、地震への備えを再確認するような特別な注意呼びかけがおこなわれました。町の対応として、巨大地震注意報が発表された日から24時間対応の情報収集体制を取り、休日、夜間にも庁舎

に職員を配置し、国や県からの情報収集や住民等からの問い合わせに対応しました。

問 今回の注意報は、日常生活を継続しながら注意しなさいというような趣旨だったと思うが、各地区の自主防災組織に対して住民、区民が対応を共有するという事が若干欠けていたのではないのか。

答弁 町長 ご指摘の点もあつたかと思いますが、行政が取った対応が全て適切であつたか検証が必要ではないかと思ひます。

問 周参見川、太間川周辺で地震、津波の被害を受けた場合に、下モ山避難場所へ砂子住宅付近から、また総合運動公園への太間地、平松方面から

の避難道路、アクセス道路が必要になってくると思うが考えは。

答弁 町長 両避難場所へのアクセス道路の整備につきましては、下地、小泊、太間地の山はいつでも急峻であり、崖崩れや土石流の特別警戒区域に指定されている区域がある為、アクセス道路は事業費が膨大になると思われることから、現時点では考えておりません。

問 地震、津波で橋や道路が被害を受けて、立野地区や神田体育館等に避難できない状況になった時に両サイドに避難場所として広大な土地があるわけですから、アクセス道路が必要になってくる。逃げる選択肢は幾つあってもいいと思うが調査等の考えは。



答弁 町長 アクセス道路が地震で被害を受ける可能性もあり、あまり現実的ではないように考えます。

問 浸水区域外でヤードとして利用できそうな場所があれば、積極的に場所を確保すべきだと思いますが、いかがでしょうか。

答弁 町長 大規模災害に備えてのヤードの整備については、自衛隊等の応援の受入れ、仮設住宅の建設などのために必要であり、用地を確保できる場所から順次整備していきたいと考えております。

令和6年度 和歌山県町村議会全議員研修会

8月6日、和歌山県町村議会全議員研修会が、上富田町総合文化会館「文化ホール」で開催されました。

研修内容は NPO 法人健康笑い塾主宰・中井宏次氏から「こころの笑方箋～職場のメンタルヘルスとユーモア～」というテーマで講演いただきました。



すさみ町役場庁舎移転検討特別委員会

すさみ町役場庁舎移転検討特別委員会では、去る 8 月 21 日、湯浅町役場庁舎及び田辺市役所庁舎の視察を行いました。湯浅町は平成 27 年、田辺市は本年に津波浸水区域から高台へ庁舎移転をした自治体であります。

それぞれの自治体の議会事務局より高台移転への経緯、議会関係の各施設等についての説明をいただきました。



【写真は田辺市議会議場】

編集後記

向寒の候、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

現在、すさみ町では庁舎建設に向けて造成工事が行われており、国がデジタル化を進める中、本町においてもデジタル化による事業効率化に取り組んでおります。

郵便物、資料等のペーパーレスによる経費節減、災害発生時の Web 会議など様々な効果が図れると思っています。

現在 9 月議会も無事終了し、令和 5 年度の決算も確定しました。実質収支で 1 億 4,732 千円の黒字であり、自主財源は 30.0%と前年度より 1.0 ポイント増加、経常収支比率は前年度より 0.2 ポイント下がり 91.7%の現状にあります。社会保障費をはじめ防災・減災対応や災害対応に多額の費用がかかることや、人口減、少子高齢化等による税収の減少などにより町財政は更に厳しくなることが十分予想されることから、議会として執行部と協議しながら、今後より一層財政の健全な運営に取り組むとともに、直面している諸々の課題に対応していくよう努力してまいります。